

令和2年度 EDU-Port 公認プロジェクト一覧

代表機関	事業名	概要
国立大学法人福井大学	「福井型教育の日本から世界への展開」アフリカ域内・日本の教師教育コラボレーション事業【アフリカ地域】	アフリカ域内における教師の成長を支える、21世紀の学校づくりと教師の学びのための専門職学習コミュニティ・ネットワークを創造する。そのために、マラウイ・ウガンダで実施してきたラウンドテーブルをアフリカ域内ラウンドテーブルに拡大するとともに、マラウイのナリクレ教員養成大学において国際教職開発プログラムを協働で実施する。さらに、これら活動を通して得られた知見を、福井大学の国際教職開発センターでの研修に活用する。
株式会社内田洋行	カンボジア Home-Learning 教材開発プロジェクト“現地大学とのSDGs4の実践と情報教育の展開”【カンボジア】	カンボジアの2つの教員養成大学において、EFL (English as a Foreign Language, 外国語としての英語) 学習教材として完成度の高い日本製小学校英語コンテンツを導入する。動画クリップを活用した「体験型」授業を実施し、「主体的・対話的で深い学び」がICTの介在によりどのように実現するのかを明らかにする。また、このICT体験を録画し、Home-Learning コンテンツの開発を行う。さらに、SDGs への貢献を願う日本の高校、大学からコンテンツ提供を受け、両国の生徒・学生が協働する機会を創出する。
株式会社すららネット	スリランカの学校教育における緊急時対策及びデジタル教育の普及に関する相互教育連携促進事業【スリランカ】	スリランカでは、新型コロナウイルスやテロなどにより、学校教育の中断を余儀なくされる状況下で、「教育の継続計画」と「教育のデジタル化」の必要性が高まっている。Eラーニング教材「Surala Ninja!」の提供、「デジタル算数コンテスト」や教員の日本への研修派遣といった活動を通じて、緊急時対策も含めた教育現場へのデジタル教育の普及活動を展開する。

		また、日本とスリランカ間で教育機関が連携する触媒となり、両国の教育のグローバル化を推進する。
特定非営利活動法人 Colorbath	マラウイとの ICT を活用した生徒・教師参加型の双方向グローバルプログラム推進事業 【マラウイ共和国】	マラウイと山口県の生徒・教師同士がオンライン／オフラインで互いに交流を実施する。教師1名が生徒100名を担当するようなマラウイの状況においても効率的なクラス運営ができるよう、日本の学校のクラス運営の手法等を共有する。教師への ICT 活用のトレーニングに加え、マラウイと日本の同世代の生徒同士の交流を実施することで、マラウイの生徒・教師が日本式教育のクラス運営等を体験する機会も設ける。